

Green Sketch

グリーンスケッチ

No. 15
2002 SPRING

特集

子供たちが森づくりにチャレンジ!!

- にいがた春の散歩道
- 植物に親しむ
- 花と緑のイベント情報
- 緑花センター掲示板
- 読者の広場
- 花と緑のお悩み相談室
- 緑のボランティア団体紹介



 財団法人新潟県都市緑花センター

子供たちが森づくりに

チャレンジ!!



湯東村立東小学校

「どんぐりの森」 「タンポポひろば」

子供は、自由で豊かな遊びや体験を通して、生きていくために必要な能力や技能を主体的に身につけていきます。特に子供時代に仲間と共に自然の中で過ごす体験は、生涯にわたって生きる基盤となります。だから学校とPTAが力を合わせて、身近に自然と触れ合う場をつくりたい。そんな願いを共通にしながら、放置され立入禁止となっていた学校の松林を憩いの広場にすることをスタートさせました。

まず、PTAの有志による「学校の森委員会」を組織。子供たちの夢や親の希望を実現する「親子アンケート」を実施しました。そして様々な準備を経て、植樹、完成に至りました。

湯東村、緑花センターより助成いただき、1年間に2箇所も自然と触れ合う場を誕生させることができました。深く感謝しています。

6~7月	森の基盤整備 (土止め、出入口、中央広場)
9月	「どんぐりの森」と命名。 看板作りへ
9月26日	森で音楽朝会
9月26日	森のオープンセレモニー (参観日に)
10月21日	親子植樹(文化祭に)
11月17日	卒業記念植樹 (雨天によりPTAのみ参加) 「タンポポひろば」完成。 遊具設置

「どんぐりの森」の名称にふさわしく、将来どんぐりを中心とした樹木が多く育つて欲しい。それがみんなの願いであり夢です。植樹してから約3年間、枯らさないように手入れしていく必要があるため、森の委員会を中心に親子ボランティアを募りたいと考えています。

森には遊具も設置され遊びを通じた心の触れ合いが可能です。また生活科、総合学習の場にもなります。「タンポポひろば」は野草を中心とした広場で、低学年の生活科の学習の場にもなります。

保育園や地域にも活用を呼びかけ、二層菜しい広場となるよう住民の協力を得て行きたいと考えています。

校長 大橋 正孝



子供たちによる、タンポポひろばでの花苗の植えつけ。

ぼくは、おかあさんと木をうえました。さるすべりをうえました。ぼくは「さるがすべつてさるすべり。」といううえました。さるすべりって楽しい名前だなと思いました。あんなうみたいたなと思いました。ぼくのせのたかさよりも大きな木になってほしいです。

2年 齋尾 昂希

ぼくは、おとうさんとぼくのせと同じくらいの木をうえました。ぼくが水を運んで、おとうさんが水をあげました。木を植えるのはちょっとむずかしかったです。木がぐんぐん育つて一番高くなつてほしいです。そしてどんぐりの森にきれいな花がさくといいな。

3年 笹川 久志

塩沢町立塩沢小学校

希望の森

今、学校では総合学習として様々な取組みを始めています。緑花活動もそのうちの1つ。緑花センターが実施している地域の緑花活動への助成制度を活用し、昨年度では県内の12の小・中学校で子供たちが植樹を行いました。

今回の特集は、そんな学校での子供たちの活動の中から、森づくり、ピオトープづくりに力をいれている3つの学校の取組みについて紹介します。

私達の学校は魚沼盆地の中心に在り、子供たちは八海山、巻機山、金城山等の名山に囲まれ、流れ出る清流、魚野川を心の糧として健やかに育っています。「魚沼コシヒカリ」も豊かな自然、冬期間に降り積もる雪、朝夕発生する川霧等、絶妙な自然のバランスの中から産まれてきます。グラウンド脇の足柄沢川は、子どもたちの格好の楽しい遊び場になっています。しかし土手からグラウンドに続く地には人の背丈以上の雑草が生い茂り、子どもたちの行く手を阻んでいました。山と森と川の豊かな営みに目を向け、清流を生み出す魚沼の自然木ブナやナラ、コブシやナナカマド等に親しんでほしい、共生している姿を感じ取り、感性を磨いてほしいとの願いをこめて森をつくりました。土盛りや木の葉集め等全校児童552名全員が参加し、植樹は6年生と職員、保護者が中心となって実施しました。児童会が中心になって「希望の森」と名付けてくれました。



「希望の森」は子どもたちや保護者、職員、地域の人々の願いが一つになり、行政の支援を受けて誕生しました。グラウンド南端、森の端にはゲートボール練習場があり、子どもたちに混じってお年寄りが練習に励んでいます。将来はビオトープのように脇を流れる足柄沢川を整備し、老若男女を問わず憩い合う空間を広げていけたらと思います。また、児童会活動や「総合的な学習」の時間を活用して自然の大切さを感じし合い、豊かな自然を守ろうとする心情を育みたいと思います。

校長 松原 道子

木をうえたことが初めてだったので、どんなうえ方をするのか楽しみでした。でもやってみると楽しさを通りこしてつかれる所までたっしました。はく達が植えた木はかなり大きくて植えるのが大変でした。思ったよりほる穴も大きく、植えるのに時間がかかりました。植えた後、りっぱな木になってもらっていつまでもそこに立っていてほしいと思いました。

6年1組 宮田 直明

11月17日に希望の森の植樹があった。植樹する前は苗木なんて球根くらいの大きさだろうと思った。でも実際は大きかった。4人で持っても重い。土をほって苗木を植え、土をかぶせ、そのままみれになった。何十年後にはやすらげるような、昆虫の集まるような森になってほしい。

6年3組 上村 臣人

柏崎市立田尻小学校

ビオトープ「よつわの森」

当校は今年度創立40周年を迎えました。それを記念して、グラウンド脇に学校ビオトープ「よつわの森」を造成することになりました。

「よつわの森」にかける願いを言ていうと、「子どもが自然の中で思い切り遊び、考え、実践する場になってほしい」ということです。子ども時代の豊かな自然体験は、豊かな人間性を育てると言われ、環境教育の重要性が今、強く叫ばれています。わたしたちも子どもたちが身近にかかわれる自然の必要性を強く感じていました。

本事業は地域、保護者、学校の三者が一体となって取り組みました。7月の工事開始から夏休みのPTA作業、10月の親子植樹など地域の大人と子どもが力を合わせて作業をしました。そして、10月末に二応の完成をみるこことができ、オープニングセレモニーを行って子どもたちに開放されました。

この事業は3年計画で行います。本年度は1年次として造成、植樹などを行いました。今後は更に植樹をしたり、下草を植えたりしていく予定です。それと同時に維持管理のための取組みに力を入れていきたいと考えています。地域、保護者、学校の三者で「小さな大自然」を育てていきたいと思えます。

今「よつわの森」は子どもたちに大人気です。いつまでもいつまでも子どもたちの声の飛び交う森であってほしいと願っています。

教諭 渡邊 興勝

ほくは夏休みのビオトープ造りのとき、一輪車に土を盛りました。汗びっしょりになって、友達や大人のひとと生懸命やりました。いっしょに仕事をした人やお父さんに「がんばったな」と言われたのでうれしかったです。山や川や池ができて、これからが楽しみです。(8月)

5年 藁谷 元気

わたしは下懸井川の山で植物を採集しました。植物に詳しい人がいて、いろいろ教えてくれました。一人では根までなかなか取れなかったのですが、みんなでザクザク掘りました。これからはみんなと協力してすばらしいビオトープができるようにしたいです。(9月)

5年 中村 亜裕美



総合学習に御利用下さい!

緑花センターで管理している、県立鳥屋野潟公園と県立植物園では学習会などが開催できるスペースを提供しています。周辺は鳥屋野潟や新津秋葉丘陵などに囲まれ、豊かな自然に触れ合うことが出来ます。施設の内容は次のとおり。是非ご利用下さい。

県立鳥屋野潟公園



面積 80m²
設備: 作業用流し、折畳みテーブル、テレビ、ビデオデッキ



面積 190m²
設備: 丸テーブル、椅子、ホワイトボード



面積 230m²
設備: ビデオプロジェクター、スライド、資料展示装置、テレビ、ビデオ、MDプレーヤー、可動式拡声装置、マイクホン

貸出可能器具 顕微鏡、双眼鏡、スライドプロジェクター、展示用パネル
貸出期間 1月4日～12月28日(いずれも土・日・祝の使用可能)
貸出時間 午前9:00～午後5:00
予約受付 使用希望日の1ヶ月前から前日まで
受付時間 午前9:00～午後4:30まで(12:00～13:00除く)(土・日・祝・12/29～1/3を除く)

お問合せ先 県立鳥屋野潟公園管理事務所
〒950-0933 新潟市清五郎33-1
有料施設受付専用TEL025-286-1147
TEL025-286-1080 FAX025-286-1104

貸出期間 1月4日～12月28日
貸出時間 午前9:00～午後5:00
予約受付 随時
受付時間 午前8:30～午後5:00(12/29～1/3を除く)
お問合せ先 県立植物園
〒956-0845 新潟市大字金津186
TEL0250-24-6465 FAX0250-24-6410



トピアリーとは
向いている樹木

刈込みによって形をつくるにはイチイやツゲの仲間がよく使われます。また金網、ビートモスを使って形をつくり、つる植物などを誘引して作る方法もあり、ヘデラやブミラなどが適しています。

トピアリーとは

樹木を円や丸、動物の形に仕立てたものをトピアリーといいます。ヨーロッパでの歴史は古代ローマ時代までさかのぼるといわれています。17、18世紀には、ヨーロッパを支配した権力者達が、広大な庭に多くのトピアリーを使った美しい庭をつくっています。自然(樹木)をも意のままにできるという権力と富の証でした。現在では一般に普及し家庭の庭のガーデニングでも欠かせないポイントになっています。



ワイヤーを使ってトピアリーを作ってみよう

材料

- 用意するもの: 鉢、針金φ3mm、針金φ1.5mm、ハサミ、ネット、軍手、用土、花苗
- 針金φ3mmを1mに4本切り、2本ずつたばね交差させ半分に折り曲げねじります。
- ねじったところから30cm下を20cm位に切った針金でとめます。そして丸くなるように上の部分を広げます。
- φ1.5mmの針金をUピンのように曲げ上のねじった箇所につまみ掛けるように巻いていきます。

成形

鉢の高さにあわせて下の部分を折り曲げます。



底の穴にネットをおきゴロ石を敷きます。



用土を入れ固形肥料を撒きます。

ヘデラなどつる植物を植え、つくったトピアリーに巻きつけます。



できあがり



植物に親しむ

緑を自分の好きな形に...
簡単に作れるトピアリー